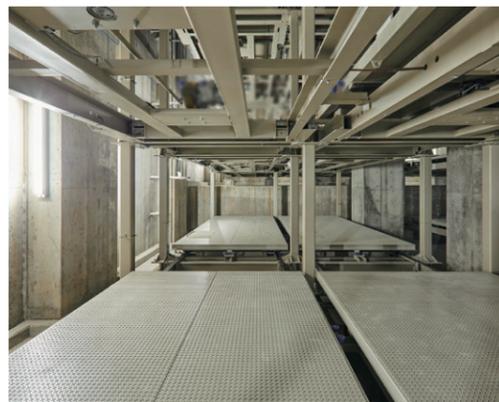




格納部上層



格納部中間層



格納部下層

「住友不動産中野駅前ビル」では、設備面においても先進的な取り組みがなされています。ビルは三段階の無停電供給システムを採用し、万が一の事態に備えて共用部照明などへの72時間連続給電を可能にするBCP(事業継続計画)対策を施しています。さらに、地下駐車場には、日精の「水平循環方式フレキシブルパーク」が採用されており、多様な建築ニーズに応える効率的な駐車ソリューションを提供しています。

また、乗降室は通り抜け方式で、入り口と出口が前後で設置されていて、入庫時、出庫時のいずれも前進のみ出し入れのスムーズさと安全性が考慮されています。バリアフリーにも対応し、操作盤にはキーを「入」に入れてから暗証操作を行う「テンキー暗証方式」を採用しています。日精の技術は、常に求められる「誰でも」が、「安全」に、「使いやすく」の要請に応えています。

100台の大規模な収容能力を持つ地下駐車場

ペDESTリアンデッキで駅とながった「住友不動産中野駅前ビル」は、1〜5階にはルノアールやココカラファイン、フィットネスジム、メディアカルモールといった商業施設が入居。

それぞれ各層ごとにレイアウトが違う構成で、空間効率を最大限に活用することで複雑な地下レイアウトに対応しています。

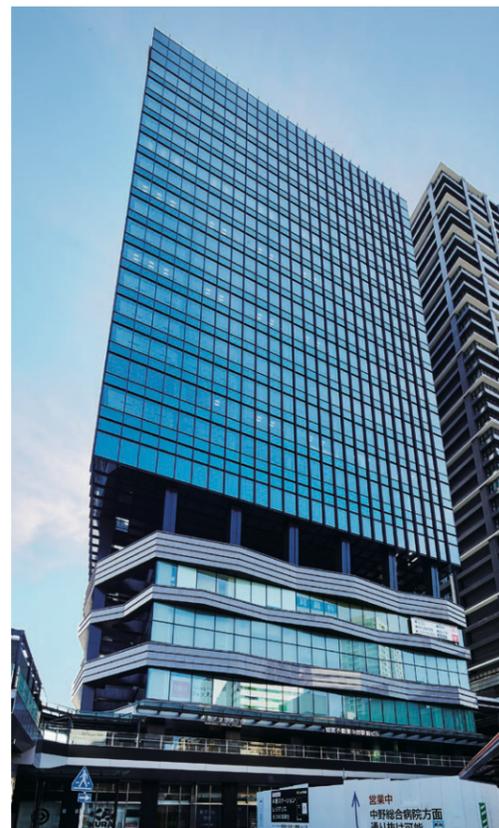
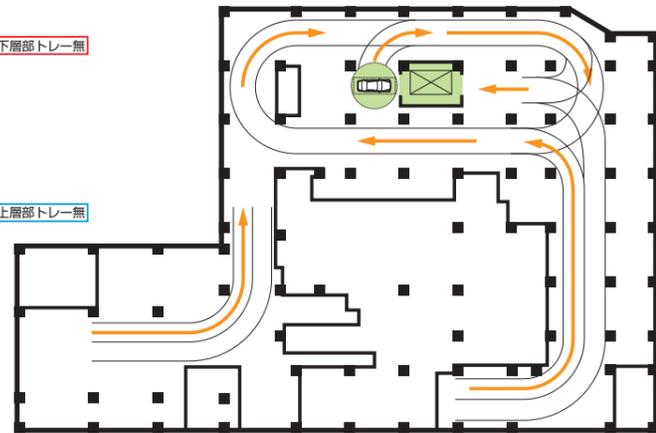
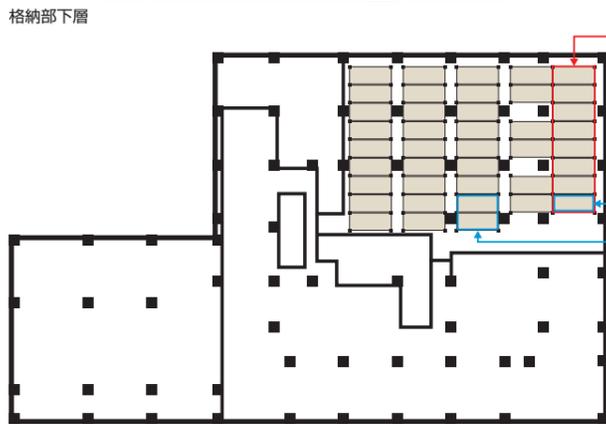
また、乗降室は通り抜け方式で、入り口と出口が前後で設置されていて、入庫時、出庫時のいずれも前進のみ出し入れのスムーズさと安全性が考慮されています。バリアフリーにも対応し、操作盤にはキーを「入」に入れてから暗証操作を行う「テンキー暗証方式」を採用しています。日精の技術は、常に求められる「誰でも」が、「安全」に、「使いやすく」の要請に応えています。



乗降室OUT側オートドア閉



乗降室IN側オートドア閉



住友不動産中野駅前ビル 外観



乗降室OUT側オートドア開



乗降室IN側オートドア開



乗降室OUT側オートドア開



乗降室IN側オートドア開

【建築概要・規模】	■ 建築主 / 住友不動産株式会社
	■ 敷地面積 / 5,676.67㎡ ■ 延床面積 / 49,799.23㎡
	■ 構造規模 / 地上20階、地下2階
	■ 設計 / 株式会社アール・アイ・イー
	■ 施工 / 西松建設株式会社
【駐車設備概要】	■ 機種 / フレキシブルパーク(水平循環方式)
	■ 型式 / FLX1LSWRE3-100(10)FD-BT
	■ 収容車サイズ /
	大型車(30台) 全長5,300mm×全幅2,050mm×全高1,550mm 重量2,600kg
	ハイルーフ車(70台) 全長5,300mm×全幅2,050mm×全高2,050mm 重量2,600kg
	■ 収容台数 / 100台(大型車30台、ハイルーフ車70台)

住友不動産中野駅前ビル

JR中野駅前に 職住近接型の施設が新たに誕生!

中野区は現在、中野駅周辺地区で「東京の新たなエネルギーを生み出す活動拠点」としていくため、駅周辺全体を11のまちづくり事業に分け、大規模な再開発事業を行っています。

今回、紹介する「住友不動産中野駅前ビル」は、この11プロジェクトの中でもっとも早く竣工した、再開発事業の中のひとつです。中野駅南口では活性化とにぎわい創出を目指す「中野二丁目土地区画整理事業」と「中野二丁目地区第一種市街地再開発事業」の2つのプロジェクトがすすめられていて、「中野ステーションレジデンス」とともに「ナカノサウステラ」として、市街地再開発事業によるものと位置付けられています。

また、6階〜20階にはオフィスが入り、となりの住居棟と一体となった「職住近接」を、古くから親しまれる中野駅前という場所に実現しました。

2030年頃までに、中野駅と中野駅周辺では、新しい駅舎、ホテル、ホール、広場などの建設が予定されています。

若者文化のサブカルチャー発信地として知られていた中野サンプラザなど、中野のシンボルは解体が予定されていますが、こうした再開発の事業によって、中野駅周辺の新たな風景が、中野のシンボルとされる日もそれほど遠くはありません。そして、その時こそ日精のパーキングテクノロジは、未来の風景を支える社会インフラとしてさらなる貢献を果たしてまいります。